



系統連系申請参考記入例 (中部電力様向け)

系統連系申請参考資料には、申請書に記入頂く参考記入例が
入っています。

参考記入例の電力申請資料は、お取寄せ頂いた電力申請資料と
書式が異なる場合がありますが同様の記入項目に記入例を基に
記入ください。

また申請に必要な付帯資料は当サイト内の資料をご活用ください。

**系統連系申請書類につきましては電力会社様より
申請者の方が必ず原本を入手頂きますようお願い致します。**

系統連系申請書類 記入参考例

ご記入例

レギー発電設備に関する系統連系申込書 兼 電力販売申込書（低圧連系）

申中

〔お客さま（控）〕

申込日 平成 年 月 日

(申込者)

ご住所	(〒 461 - 8680) 名古屋市東区東新町1番地	
(フリガナ)	チュウデンタロウ	
お客さま名	中電太郎	
電話番号	TEL (****) *-*-*-*	携帯電話 (****) *-*-*-*

「低圧の発電設備に係る契約要綱」を承認のうえ、同意しております。なお、本申込のを放棄した場合、本申込みの技術検討に要した費用を支払うことになります。(10kW以上の太陽光発電設備の場合は、条件が適用される場合があります。)

(申込内容)

【新規・変更】(いずれかに○) 売電先(中電太郎)・この他(いずれかに○) 売電されることは、系統連系のみの申込みとして取扱います。

設置場所	ご住所 (〒 一) 同上	※お引っ越し先など現住所と異なる場所に発電設備を設置される場合にご記入ください			
	電話番号 ()				
	設置場所の状況 (いずれかに○) <個人の住宅・店舗事務所等(店舗事務所兼自宅を含む)・その他()>				
発電設備	発電方式	【太陽光・風力・水力・バイオマス・地熱】複数ある場合はすべてご選択ください。			
	発電設備出力 (太陽電池等)	① 4.860 kW・kVA (変更前出力)(注1) ※発電設備が2系統ある場合に2系統目をご記入ください	② kW・kVA	電気方式	連系電圧
	インバータ 定格出力容量	① 4.000 kW・kVA (変更前容量)(注1) ※発電設備が2系統ある場合に2系統目をご記入ください	② kW・kVA	① kW・kVA	交流 単相 3線式 60ヘルツ 100/200ボルト 主任技術者名・電話番号(注2) (お名前) ※自家用電気工作物となる場合にご記入ください。
系統連系・受給開始希望日	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日				
再生可能エネルギー以外の発電設備等の併設	無・有	【コノエイ・燃料電池・蓄電池・その他()】			
<small>契約書類の送付先(いずれかに○) < 現住所(新規申込)・代行者()> ※契約書類(お知らせ)はお客さまに確実にお渡しください。</small>					

(注1) 設備を変更する場合のみご記入ください。

(注2) 自家用電気工作物となる場合にご記入ください。

【添付資料】

- 設備認定通知書(写)
- 小型分散型発電システム用系統連系装置認証証明書
(インバータがJET(日本法人電気安全環境研究所)認証品の場合)
- 再生可能エネルギー発電システムの系統連系資料
(工事店さま等にてご記入)
- ※その他必要資料があれば、すみやかにご提出いただきます。
(JET認証品でない場合は詳細資料が必要となるため
あらかじめ当社窓口にご相談ください。)

住所

名古屋市中区千代田2-12-14

会社名

中部太陽光販売株式会社

担当者

高橋

TEL

(****) *-*-*-*

※代行者に送付を希望する場合は、下欄にご記入ください。

(この欄は、当社に売電されるお客さまのみご記入ください。)										
振込口座 および 口座名義	太陽光		銀行・組・金 万金・農協・漁協	青空		本 支 所 支 所 ・ 出 張 所	普通 (01)	当座 (02)	貯蓄 (04)	他 (09)
	銀行 コード	9 9 9 9	支 店 コード	9 9 9	預 金 種 別 コード	0 1	口座番号	1 2 3 4 5 6 7	※ゆうちょ銀行への 振込はできませんので ご了承願います。 ※口座番号は右詰で ご記入ください。	
	口座名義(カナ)	チユウテンハナコ				※ご契約名義と相違する 場合に続柄をご記入 ください。				
口座名義(漢字)	中電花子				妻					

○裏面のチェックシートをご活用ください。

〈お客さまへのお願い〉

- 当社に売電される場合、「再生可能エネルギー発電設備に関する系統連系申込書 兼 電力販売申込書【お客さま(控)】」(1枚目)は、ご記入後、お客さまにて大切に保管してください。
(2枚目および添付資料をご提出ください。)
- 再生可能エネルギー発電設備に係る設備認定は、お申込みに先立ち、お客さまご自身で行っていただく必要があります。
また、お申込みの際には、国から発行される設備認定通知書の写しを本申込書に添付してご提出いただく必要があります。
- 購入単価は本申込書の申込受付日または発電設備の設備認定日のいずれか遅い方で判定します。記入(添付)漏れがありますと受付できない場合があるため漏れのないようご記入ください。
- 当社以外の電気事業者に売電される場合でも、本申込書による当社への系統連系申込みが必要です。
なお、この場合、お客さまと電気事業者との間で電力の売買に関する契約を締結していくこととなります。

〈お申込み後の流れについて〉

- お客さまの再生可能エネルギー発電設備を当社配電線に連系するにあたり、技術検討を実施します。
- その後、計器工事(お客さま費用負担)を実施し、お客さまの発電設備設置工事が完了後、受給開始となります。
(JET認証品でない場合等は当社検査完了後、受給開始となります。)
- なお、当社に売電される場合、「受給開始日」および「購入単価」の確定後、別途「電力受給契約に関するお知らせ」にて契約の詳細をご案内いたします。「お知らせ」がお手元に届くまでの間、本申込書(控)を大切に保管ください。

【個人情報の利用目的】

当社は、当社が本申込書および添付資料によって取得・保有する個人情報について、電気事業の運営の範囲内において、契約の締結・履行、資産・設備等の形成・保全、関連するアフターサービス、商品・サービスの改善・開発、商品・サービスに関するダイレクトメール・電話・訪問等によるご案内、アンケートの実施、その他これらに付随する業務を行うために利用させていただきます。

再生可能エネルギー発電設備に関する系統連系申込書 兼 電力販売申込書等チェックシート

チ
お
エ
客
ツ
さ
ク
ま
欄

＜申込書提出前に各項目をご確認ください＞

○申込書

- 申込日は記入されていますか
- 電力受給のご契約名義は電気需給契約（当社からお客様へ電気を供給するご契約）のご契約名義と同一となっていますか
(既設電気需給契約がある場合は、検針票にてご確認ください)
- 売電先はどちらかを選択されていますか
- 現住所・設置場所は記入されていますか
- 発電設備最大出力・インバータ定格出力容量はメーカーの仕様書等と相違ございませんか
- 契約書類等の送付先は記入されていますか（2ヶ所）
- その他記入漏れはございませんか

＜当社へ売電される場合＞

- 振込口座は記入されていますか（ゆうちょ銀行への振込はできません）

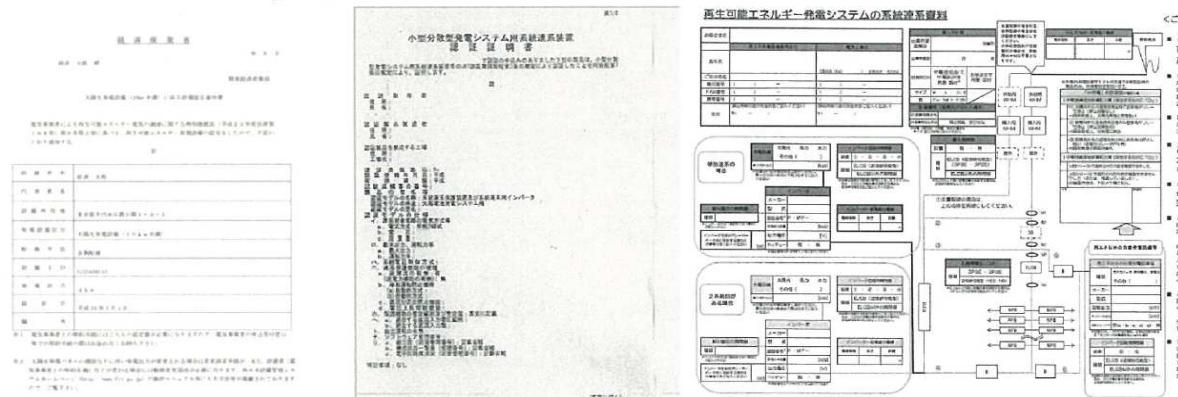
○添付資料

- ① 「発電設備に係る設備認定通知書（写）」（国からの認定通知書）はございますか
- ② 「小型分散型発電システム用系統連系装置認証証明書」（JET資料）はございますか
- ③ 「再生可能エネルギー発電システムの系統連系資料」（当社所定の様式）はございますか

契約書類の送付先
契約書類はお客様に確実にお渡しください

＜②小型分散型発電システム用系統連系装置認証証明書＞

＜③再生可能エネルギー発電システムの系統連系資料＞



※認証更新のあるインバータの場合は、変更証明書
もあわせてご提出ください

○再生可能エネルギー発電システムの系統連系資料

- 発電設備出力・インバータの型式等はメーカーの仕様書等と相違ございませんか
- 主開閉器・インバータ回路用開閉器について記入されていますか
- 購入用計器について記入されていますか
- その他記入漏れはございませんか

○再生可能エネルギー以外の発電設備等の併設の場合

- ガスコジェネ、燃料電池等の併設の場合、「再エネ以外の自家発電設備等」の項目は記入されていますか
(再生可能エネルギー以外の発電設備等を併設する場合は、上記添付資料以外に「発電設備の系統連系申込書」および設備の資料が必要となります。)

○電力モニタや送信ユニットの取付状況

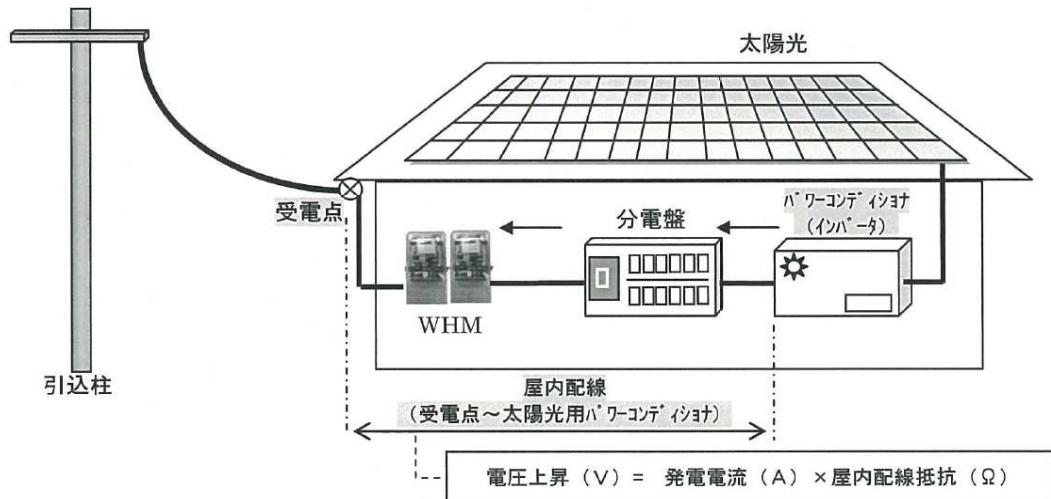
- 主開閉器契約の場合、電力モニタや送信ユニット等の消費電力がある設備は、電気需給契約側の契約ブレーカーの二次側に接続されていますか

**太陽光発電設備を設置する場合の「屋内配線の電圧上昇計算」について
(お願い)**

太陽光発電設備には、発電した電気によって受電点および周辺のお客さまの電圧が高くなり過ぎないよう「電圧上昇抑制機能」があります。ここ数年、電圧上昇抑制機能の動作により、発電出力を抑制されることで、太陽光発電設備を設置されたお客様からのお問い合わせやお申し出などが多く発生しており、全国的な問題となっております。この主な原因は、屋内の配線部分での電圧上昇によるものが多いという実態を踏まえ、発電出力抑制を減少させるための施策として、次の新たな取り組みを実施していきたいと考えておりますので、ご協力お願いいたします。

(新たな取り組み)

販売店殿または電気工事店殿は、電力販売申込み（系統連系申込み）時に、受電点から太陽光用パワーコンディショナ（インバータ）までの屋内配線部分の電圧上昇計算を実施し、当社に提出していただきますようお願いいたします。なお、屋内配線の選択の際には電圧上昇が大きくなり過ぎないよう適正なものを使いいただくようお願いいたします。



1 電力販売申込み（系統連系申込み）時の流れ

ステップ①：受電点から太陽光用パワーコンディショナ（インバータ）までの屋内配線による電圧上昇値を、「屋内配線（受電点から PCS まで）の電圧上昇値の簡易計算書」を使って求める。

ステップ②：電圧上昇計算の結果、電圧上昇値が 2Vを超えるような場合は、屋内配線を見直す。（内線規程 1310-1「電圧降下」に準用）

ステップ③：電力販売申込み（系統連系申込み）時に、電力販売申込書やその他必要な資料と一緒に「屋内配線（受電点から PCS まで）の電圧上昇値の簡易計算書」を提出する。

2 運用開始時期

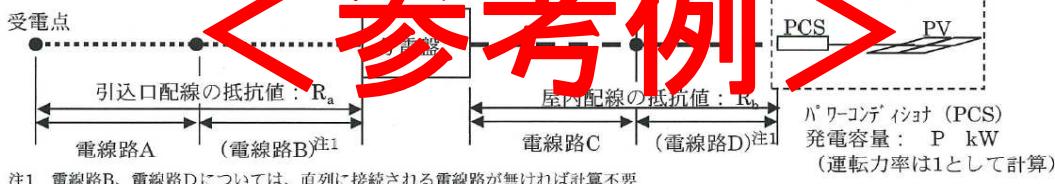
平成 26 年 4 月 1 日（火）申込み分から。

以 上

屋内配線（受電点からPCSまで）の電圧上昇値の簡易計算書

箇所を入力することで自動計算が可能
手計算の場合は白紙を印刷し使用

お客様名：○○○○
工事施工者名：◆◆◆電気工事(株)



■ 受電点からPCSまでの電圧上昇値の計算

電圧上昇計算式 $\Delta V = K \times \text{発電電流 } I_g \times (\text{引入口配線の抵抗値 } R_a + \text{屋内配線の抵抗値 } R_b)$

(1) K

電気方式	単相3線式100/200V
------	---------------

K= 1 ...①

電気方式	K
単相2線式100V	2
単相2線式200V	2
単相3線式100/200V	1
三相3線式200V	$\sqrt{3}$

※1 電圧線と中性線との電圧を求めるため1としている。※1

(2) 発電電流 I_g

発電容量P (PCS容量)	10.0	kW
------------------	------	----

電気方式	発電電圧V
単相2線式100V	105
単相2線式200V	210
単相3線式100/200V	210
三相3線式200V	$\sqrt{3} \times 210$

$$\text{発電電流 } I_g = \frac{\text{発電容量 } P(\text{kW}) \times 1,000}{\text{発電電圧 } V(\text{V})} = 47.6 \text{ A} \quad \dots \text{②}$$

(3) 引入口配線の抵抗値 R_a と屋内配線の抵抗値 R_b 引入口配線の抵抗値: R_a -----

	電線路A	電線路B
電線太さ	8sq	
インピーダンス (Ω/km) (1)	2.31	(4)
亘長 (m)	(2) 10.0	(5)
抵抗値 (Ω)	(3) 0.023	(6)
抵抗値(3)=(1)×(2)/1,000	(6)=(4)×(5)/1,000	

$$\text{引入口配線の抵抗値 } R_a : (3) + (6) = 0.023 \Omega \dots \text{③}$$

屋内配線の抵抗値: R_b -----

	電線路C	電線路D
電線太さ	5.5sq	
インピーダンス (Ω/km) (7)	3.33	(10)
亘長 (m)	(8) 10.0	(11)
抵抗値 (Ω)	(9) 0.033	(12)
抵抗値(9)=(7)×(8)/1,000	(12)=(10)×(11)/1,000	

$$\text{屋内配線の抵抗値 } R_b : (9) + (12) = 0.033 \Omega \dots \text{④}$$

(4) 電圧上昇値 (ΔV) の計算電圧上昇値 $\Delta V = K(1) \times \text{発電電流 } I_g(2) \times [\text{引入口配線の抵抗値 } R_a(3) + \text{屋内配線の抵抗値 } R_b(4)]$

受電点からPCSまでの電圧上昇値	2.67V
------------------	-------

(判定結果)

簡易計算の結果、逆潮流による電圧上昇値が標準電圧の2%を超えていません。

※ 電圧上昇値の計算結果が標準電圧の2%を超えている場合、電線太さ・亘長の見直しをお願いします。

電線インピーダンス (抵抗) 引入口配線・屋内配線 (軟銅)	
線種	(Ω/km)
2.0mm	5.650
2.6mm	3.350
3.2mm	2.210
5.5sq	3.330
8sq	2.310
14sq	1.300
22sq	0.824
38sq	0.487
60sq	0.303
100sq	0.180
150sq	0.118
200sq	0.092
250sq	0.072

JIS C3807-1980に基づく